

渡邊智道& 千葉遥一郎

ピアノデュオコンサート

123
Mitake Sayaka Salon (vol.20)

ラフマニノフの
ロマンティシズム、
交響曲第3番
イ短調 作品44



渡邊 智道 (Tomomichi Watanabe) Piano

大分県別府市出身。

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業、東京芸術大学卒業。

大分にて、ピアノを島岡恵子、中島利恵、塩手美子、木下文葉に、音楽理論を田村陽子に師事。上京後、2016年まで植田克己に師事。

2016年日本音楽コンクール・ピアノ部門で第3位受賞を区切りとし、その後は昔の偉大な巨匠達が体現し、次世代に伝えんとしていた真の芸術としてのピアノ奏法、響の在り方の追求、復活、伝承を求めて活動。ピアノ芸術研究会講師も務める。また、各地で協奏曲客演、独奏、伴奏、室内楽で独自の活動を展開。

その他作詩、作曲、文筆、脚本執筆においても活動を展開。

2018年12月21日(金)

開場18:30/開演19:30

入場料:会員3,500円/

一般4,000円/

学生2,000円

(全席自由席)



千葉遥一郎 (Yoichiro Chiba) Piano

1997年東京都出身。2014年、第20回フッペル鳥栖ピアノコンクール第2位。2015年、第85回日本音楽コンクール第2位及び聴衆賞受賞。ソロサイトの他、室内楽奏者、伴奏者としても各地で活動している。トリオデトワール、ko-trioメンバー。

これまでに鈴木美紀、秋庭津代子、大滝恵、植田克己各氏に、現在江口玲氏に師事。



ABA版画工房©